

科目名	教育学概論				担当教員名	森田 英嗣
該当DP	2	単位数	1単位	選択	配当年次	2年次・第3セメスター(前半)
曜日・時限	金曜日・5限目			教室	オンライン授業	
授業概要	教育の本質・目標を、グループディスカッション等を通して生物的、社会的、制度的、法的、個人的側面から総合的、多角的に考察し、教育を担う教員の役割を理解する基盤的資質の形成を目指したい。それに加えてカリキュラム構成を通して教育を実現する際の基本的な概念を学ぶことを通して、教員の基盤的資質の育成・強化を目指したい。					

教育の本質・目標を、グループディスカッション等を通して生物的、社会的、制度的、法的、個人的側面から総合的、多角的に考察し、教育を担う教員の役割を理解する基盤的資質の形成を目指したい。それに加えてカリキュラム構成を通して教育を実現する際の基本的な概念を学ぶことを通して、教員の基盤的資質の育成・強化を目指したい。

到達目標	
------	--

- 1) 教育の本質・目標を、生物的、社会的、制度的、法的、個人的側面から総合的、多角的に考察し、教育の意義を言語化することができる。
- 2) 「学ぶこと」をデザインするカリキュラムの必要性を理解し、教育目標実現のための基本概念を習得できる。

回	日程	見出し	内 容	実践的な授業方法
1	4/11	ヒトにとっての教育	全8回のガイダンスを行う。さらに種としてのヒトの特質を踏まえ、ヒトにとっての教育の必要性や価値を議論し、本講義に参加するレディネスを整える。[グループディスカッション]	○
2	4/18	私たちにとっての教育	受講生個々人がこれまで受けた教育を振り返り、私事としての教育の必要性や価値が何であったかを議論し、言語化する。また人生の各段階での教育の諸相を知り、生きることと教育との関係を整理・把握する。[グループディスカッション]	○
3	4/25	社会(国家)にとっての教育	社会(国家)は、その発展と持続のために、国民への教育を必要とする。その歴史から公事としての教育の展開を概観し、前回の私事としての教育との関係で現在の教育の現状を整理・把握する。[グループディスカッション]	○
4	5/9	教育の法的制度的基盤	現在の教育を、法律や制度の側面から把握するとともに、教員に期待される役割について議論するとともに、医療専門職を育てる教員になることの意義を、公私の両側面から意識化する。[グループディスカッション]	○
5	5/16	教育の文化的基盤	受講生の体験も交えながら、教育への文化の影響について多角的に考察し、またグローバリゼーションが教育にもたらす影響について考察する。[グループディスカッション]	○
6	5/23	「教える」と「学ぶ」と	「学ぶ」ことは「教える」ことなしでも生じ得る。「教える」ことがあっても「学ぶ」ことが実現しないこともある。「教える」と「学ぶ」ことの関係性について議論し、教育の目標を達成する上で必要な条件について意識化する。[グループディスカッション]	○
7	5/30	カリキュラムの構成(1)	カリキュラムの意味を4側面(計画されたカリキュラム、実施されたカリキュラム、達成されたカリキュラム、隠れたカリキュラム)から把握する。また4側面から受講生が自らのカリキュラム(学習の履歴)を振り返る。[グループディスカッション]	○
8	6/6	カリキュラムの構成(2)	生活カリキュラムと学問カリキュラム、実質陶冶と型式陶冶、習得主義と年齢主義、勉強と研究等の相違点を理解し、カリキュラムのあり方についての考察を深める。[グループディスカッション]	○

キーワード	私事としての教育、公事としての教育、カリキュラム	履修条件	なし
-------	--------------------------	------	----

教材等	教科書(要事前購入)	教科書は特に指定しない。講義で使用する資料は適宜配付する。
	参考書(任意購入)	参考書は特に指定しない。講義内で適宜紹介する。
成績評価方法(%) [評価のポイント]		①各回の授業の取り組み状況(50%)、②各回の課題の達成状況(50%)[①授業への積極性、②到達目標を踏まえ、講義内容を十分理解しているか否かを評価します。]
授業時間外で必要な学修		受講生の皆さんがあなたが受けた教育を振り返って、教育についての考え方や疑問、課題意識などをその都度発表していただきたいと思いますので、それらについてまとめておくことが望ましい。
学生へのメッセージ		受講生の皆さんがあなたがこれまで受けた教育(の記憶)、差し支えない範囲で振り返っていたときながら、教育の本質や目標について考察を深めたいと思います。

※ 授業の日程については変更する場合があります。